

～人・まち・地域の健康づくり～ 健幸都市「下妻」を目指して

稲葉市政2期目スタート



3月24日に告示された下妻市長選挙で無投票再選を果たした稲葉本治市長が4月14日、市役所に初登庁しました。

市民の皆さんや市職員に拍手で迎えられ、花束を受け取った稲葉市長は「元気で住みよいまちにしていきたい」とあいさつし、公務に向かいました。

庁内会議終了後の市長就任式では、市職員に向けた訓示で「市民一人一人が安心・安全で健康やかに暮らし、地域全体で支えあう元気なまちづくりを進める、ホスピタリティーの高い健幸都市『下妻』をキーワードにした、まちづくりに取り組んでいきたい」と力強く抱負を語りました。

就任のあいさつ

下妻市長 稲葉 本治

下 妻市長として2期目のごあいさつができますこと、大変光栄に思っているところでございます。

この度の下妻市長選挙では、無投票再選という身に余る結果となり、その責任の大きさをひしひしと感じているところであり、4万3千市民の「健康と暮らしを守る」ため、その職責を全うするべく全力で取り組む決意を新たにしているところでございます。多くの市民の皆さまからいただきましたご信頼とご期待にお応えするために、誠心誠意全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



就任式で市職員に訓示を述べる稲葉市長

振り返りますと、私が平成22年の市長就任以来、1期4年間は非常に厳しい財政状況下の中、どうすれば活き活きと元気ある下妻市の創り上げの心を一心不乱に考え、多くの市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら、下妻市が大きく躍進するその土台づくりに懸命に取り組んでまいりました。

そして、2期目のスタートに当たり、1期4年間に取り組んでまいりました「みんなで創ろう『いきいき下妻』」を合言葉として、「市民との協働」を基本理念に、下妻市をさらに大きく飛躍させ、市民の皆さまが誇りを持って「下妻市民です」と言えるまちづくりを創ってまいります。

特 に、これまで経験したことがない少子高齢社会と人口減少社会に直面している大きな転換期の中、将来を見据え、地域を牽引していく施策として、市民一人一人が安心・安全で健康やかに暮らせ、地域全体で支えあう元気

なまちづくりを進める、ホスピタリティーの高い健幸都市「下妻」(※「健幸」とは、身体面での健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れることを意味します)をキーワードにした、まちづくりに取り組んでまいります。

健 幸都市「下妻」は、従来の健康施策のみではなく、居住環境及びまちづくりの整備など、まちづくりの視点を加えた総合的な施策とともに、下妻市の魅力を「シティプロモーション」により強力に発信し、若い世代の定住人口・来訪人口の増加戦略を展開するため、5つの施策を掲げさせていただきます。

はじめに、1つ目といたしましては「街なか再整備と地場産業の育成」に取り組み、街なかの空間整備や、多様な機能を集積したにぎわいと活力あるまちづくりを進め、砂沼を中心とした健幸都市づくり、そして、下妻産品のブランド化、並びに育成強化を目指してまいります。

2つ目は「郊外型大型ショッピングゾーンの誘導」

により、交流人口の拡大とともに、輝きと風格、活力ある下妻市づくりを進め、交流人口の中心街への誘導を行ってまいります。

3つ目は「さらなる財政の健全化と産業誘致等による財源の確保」を図り、実質公債費10%を目指す一方、産業誘致等による新たな財源確保とともに、安心して快適な魅力ある「住んでみたい」まちづくりを構築してまいります。

4つ目は「福祉教育の充実と安心安全のさらなる強化」では、教育福祉施設の新築、耐震化、大規模改修など、安全で安心できる教育福祉環境の整備とともに、総合的な子ども・子育て支援を推進してまいります。

5つ目は「公共インフラ整備による市内交通網の充実」を図り、下妻市の人口の交流・連携などを活発化させる道路網の拡充を図ってまいります。

この5つの施策は下妻市が確実に躍進していく大切なビジョンと考えておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。